

まちかど通信

子どもが自然にふれあう機会を提供することを目的にした「自然体験共学センター」がこのほど県からNPO(非営利組織)法人としての認証を受けた。理事長の辻一豊さん(38)は「子どもと共に学んでいきたい」と抱負を語る。

長野県で同様のNPOを運営する弟に誘われ、01年

子どもと一緒に自然学ぶ

に福井支部を設立したのが発端。大学時代から途上国の経済的自立を貿易を通して支援する活動をしてきたが、野外活動の体験はほとんどなかったという。

始めてみると反響の多さに驚いた。「今の親の世代は自然体験をした経験がない。子どもは友達をつくりたいということでも一人で来たいということがある子が自立する子が自立する」

美山町の廃校やテントを使った1〜6泊の合宿を年8回ほど開く。秋にはアジアの子ともたちを招いた交流事業も計画する。「自然と一体だった地域文化も伝えていきたい。大人もリーダーとして参加してほしい」

